

# 家畜伝染病防止対策

～ 牛サルモネラ症・ヨーネ病 ～



令和5年10月

北海道胆振総合振興局  
胆振農業改良普及センター

# 1. はじめに

令和5年は経験の無い猛暑の夏を経験し、家畜の体力や免疫力の低下が懸念されます。

このような中で、心配することは伝染性疾病への感染です。牛サルモネラ症(以下サルモネラ症)やヨーネ病に感染すると、浄化に要する日数や費用、精神的負担ははかりしれません。

伝染性疾病感染予防に向けた対策を再度見直し、取り組ましましょう！

# 2. サルモネラ症とヨーネ病の感染状況

サルモネラ症とヨーネ病の感染状況は全道で増える傾向にあります。

胆振管内では、 ● サルモネラ症は近年、散見される。

● ヨーネ病は増えている。

表1 牛でのサルモネラ症感染頭数および戸数の推移\*

	H25年	H26年	H27年	H28年	H29年	H30年	R1年	R2年	R3年	R4年	
全道	頭数	2	2	54	104	37	246	117	227	199	363
	戸数	1	1	8	17	6	59	35	65	45	148
胆振	頭数	0	0	0	0	0	10	10	6	1	
	戸数	0	0	0	0	0	1	2	2	1	

表2 ヨーネ病感染頭数および戸数の推移\*

	H25年		H26年		H27年		H28年		H29年		H30年		R1年		R2年		R3年		R4年		
	乳	肉	乳	肉	乳	肉	乳	肉	乳	肉	乳	肉	乳	肉	乳	肉	乳	肉	乳	肉	
全道	頭数	220	213	323	334	360	239	287	231	281	432	392	290	445	500	370	470	375	470	484	514
	戸数	125		155		147		146		182		144		169		197		208		244	
胆振	頭数	0	12	0	8	0	6	0	6	0	97	0	48	0	30	0	82	0	82	0	87
	戸数	3		3		2		3		6		4		5		7		8		17	

\* 胆振家畜保健衛生所まとめ

# 3. 感染時の浄化までの道のり

## ○サルモネラ症防疫チャート例



## ○ヨーネ病防疫チャート(北海道ヨーネ病防疫対策実施要領に基づく対応)



- 患畜が確認された農場では同居牛検査を3年間(36ヶ月間)実施されます。
- 同居牛検査時に新たな患畜があった場合、スケジュールは発生時(1回目)に戻ります。

## 4. 病原菌の侵入経路

サルモネラ症やヨーネ病の病原菌の侵入は主に口からです。

汚染された飼料や水を口にした場合、感染・発病のリスクが高まります。特に、サルモネラ症・ヨーネ病ともに子牛段階での経口感染による同居牛への感染拡大が問題となります（図1）。

ヨーネ菌は感染した母牛の乳を子牛が飲んだ場合にも感染することがあります（図2）。

病原体の侵入防止に向けては、農場敷地内への病原体の持ち込みを防ぐことが最も重要です。

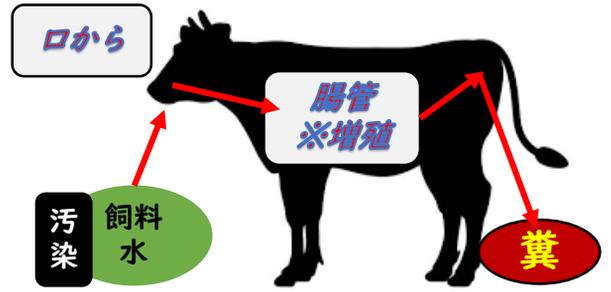


図1 経口感染のイメージ

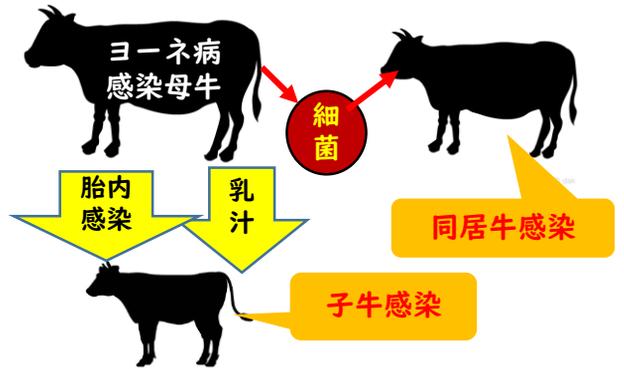


図2 ヨーネ病の感染  
(母子感染、同居牛感染)

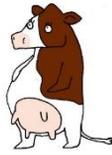
## 5. 症状

	ヨーネ病	牛サルモネラ症
伝染病区分	法定伝染病	届出伝染病（3種類の血清型）
原因物質	細菌（ヨーネ菌）	細菌（サルモネラ菌）
主な症状	<p>○子牛・成牛 慢性の頑固な下痢 →削瘦・乳量減少</p> <p>空胎長期化(成牛の場合) ※排菌量の増加に伴い、下痢がひどくなり死に至る</p>	<p>○子牛・成牛 元気喪失、発熱、下痢（悪臭便） →粘性血便</p> <p>乳量減少、流産(成牛の場合) ※重症化で肺炎、突然死もある</p>
	 <p>写真1,2 削瘦した牛 (出典：胆振家畜保健衛生所)</p>	 <p>写真3 サルモネラ症の粘性血便 (出典：近代出版)</p>

## 6. 侵入防止と衛生対策

### <家畜の病原体を拡大させない3原則>

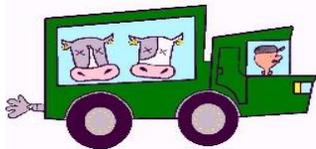
- 持ち込まない
- 広げない
- 持ち出さない



- ①手の消毒
- ②靴・衣類の履き替え、消毒
- ③車両の消毒
- ④野生動物等の侵入防止
- ⑤異常家畜の早期発見

### 農場（衛生管理区域）の拡散防止対策例

病原体を拡散させるのは、人・車両・機械・動物です！



石灰帯で出入りする車両の消毒

立入禁止



病原体を入れない

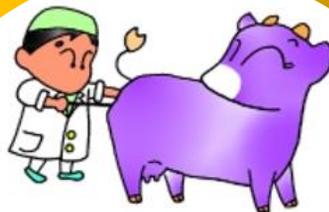
専用の長靴、服を用意  
畜舎ごとの長靴の交換や消毒



防鳥ネットを設置  
野生動物やペットを侵入させない



畜舎に出入りする時  
手指の洗浄・消毒



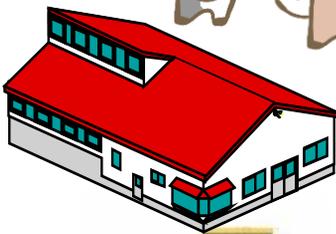
病原体を広げない



畜舎の定期的な清掃  
消毒・整理・整頓



導入牛は一定期間  
隔離して管理



衛生管理区域



## 7. 消毒薬剤と使用方法

### ○よく利用されている消毒薬剤の使用方法

種類	製品名	対象		希釈倍率 (踏込消毒の場合)
		サルモネラ症	ヨーネ病	
逆性石けん (弱アルカリ)	パ コ マ	○	×	500-2,000倍
塩素系 (酸性)	ク レ ン テ	○	○	300-3,000倍
塩素系 (酸性)	アンテック ビルコンS	○	○	100倍
アルカリ系	消 石 灰	○	○	-

### ○消石灰(石灰消毒帯)の注意点

- 車両が走行する路面全体に広く散布する。
- 定期的に散布しなおす。

### ○踏込消毒槽の注意点

- 糞などの有機物が混ざると効力が落ちるため、こすり洗いをしてから踏込槽に入る(写真4)。
- 酸性の消毒薬剤は石灰と反応すると効力がなくなる。 写真4 消毒槽の設置例



## 8. 病原体に負けない飼養管理

### ○栄養の充足を通じ体力・免疫力を高め、疾病予防をする

- 粗飼料分析結果に基に、乳量や発育ステージに応じた飼料給与(栄養補給)を行う。
- エサ寄せ・多回給餌を行い、飽食状態を保つ(写真5)。
- カビが生えた飼料は与えない。



写真5 飽食状態の飼槽

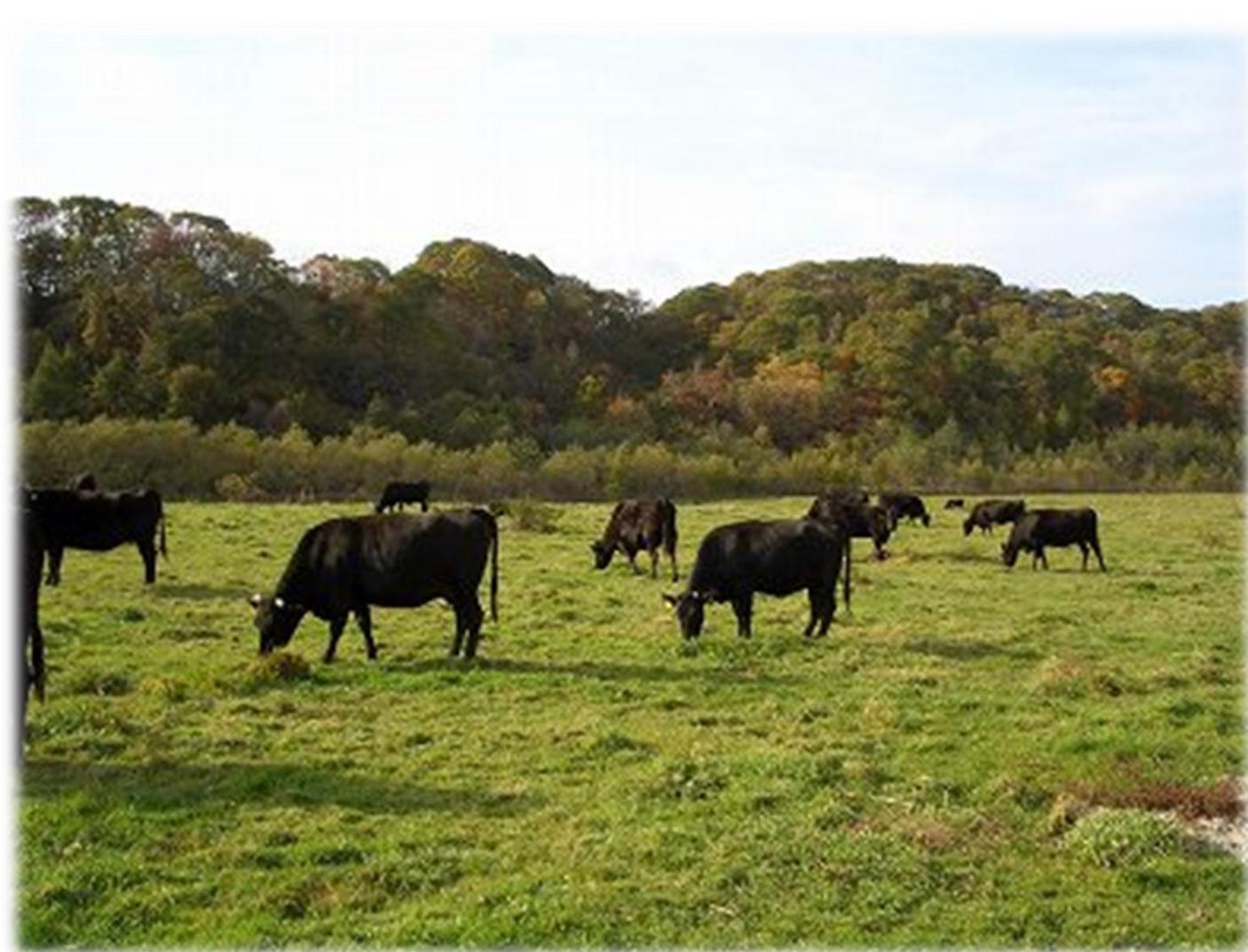
### ○飼槽・水槽・ウォーターカップは常に清潔に保つ

- 飼槽は凸凹無く滑らかにし、衛生状態を保てる表面にする。
- 水槽やウォーターカップは変敗飼料を取り除き、清潔に保つ。



写真6 ウォーターカップも清潔に保つ  
(左: 洗浄前、右: 洗浄後)

※詳しくは普及センターに問い合わせください



## 北海道胆振総合振興局胆振農業改良普及センター

### 【本所】

伊達市末永町147番地

TEL:0142-23-3195

FAX:0142-23-2074

### 【東胆振支所】

勇払郡むかわ町

文教1丁目6番地

TEL:0145-42-2528

FAX:0145-42-5597

### ホームページ

<https://www.iburi.pref.hokkaido.lg.jp/ss/nkc/>

